

令和3年度門真市カドマイスター認定委員会 議事録

1. 開催日時 令和4年2月2日（水） 午後3時00分～午後4時50分
2. 開催場所 門真市役所別館3階 第3会議室
3. 出席者 認定委員会：高野委員、皆川委員、大平委員、倉沢委員、水野委員
事務局：山市民文化部次長、大倉産業振興課長、
児島産業振興課主任、河坂産業振興課係員

4. 会議録

【事務局】

定刻より、1，2分早いですが、只今より門真市カドマイスター認定委員会を開催いたします。本日は何かとお忙しいところ、また、新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、本認定委員会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。私、本日の司会を務めさせていただきます、産業振興課課長の大倉でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、審議に入ります前に、配布資料の確認をさせていただきます。まず、門真市カドマイスター認定委員会次第、続きまして資料1「門真市カドマイスター認定委員会 委員名簿」、資料2「カドマイスターを探せ!2022 応募企業一覧」、資料3「門真市カドマイスターを探せ 事業認定基準」、資料4「カドマイスター認定審査 審査票」、資料5「カドマイスター2022 認定委員会 評価できる点や今後の事業展開に向けたアドバイス等」、資料6「カドマイスター2022 認定委員会に係る事前質問に対する回答」資料6-1が株式会社三和歯車様、6-2が株式会社ホーシン様となっております。続きまして資料7「門真市附属機関に関する条例施行規則の抜粋」、最後に資料8「審議会等の会議の公開に関する指針及び門真市公開条例の抜粋」、以上となっております。

大丈夫でしょうか。

尚、本委員会は議事録作成のため、録音させていただきますので、ご了承のほどお願いいたします。

それでは、次第に従いまして進めてまいりたいと思います。次第2、委員紹介をお座席順にそってさせていただきます。中小企業診断士として、e&i 経営研究所 代表

の高野 浄委員でございます。

【高野委員】

高野です。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

学識経験者として、大阪工業大学 情報科学部 データサイエンス科 教授の皆川 健多郎委員でございます。

【皆川委員】

皆川です。よろしくお願いいたします。

【事務局】

経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 産業技術課 課長 大平 昌幸委員でございます。

【大平委員】

大平です。よろしくお願いいたします。

【事務局】

大阪府 商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課 販路開拓支援グループ 課長補佐 倉沢 幸治委員でございます。

【倉沢委員】

倉沢と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

門真市 市民文化部 部長 水野 知加子委員でございます。

【水野委員】

水野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

なお、学識経験者、未来産業経済研究所 代表の津田 盛之委員及び守口門真商工会議所 商工振興部 課長 赤堀 彰則委員は本日欠席でございます。

本委員会は委員7名中5名が出席しており、門真市附属機関に関する条例施行規則第5条第2項の規定により委員の過半数の出席をもちまして本会議が成立していることをご報告いたします。

続きまして、事務局を紹介いたします。

市民文化部次長の山でございます。

山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

産業振興課主任の児島でございます。

児島でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

産業振興課係員の河坂でございます。

河坂でございます。よろしくよろしくお願いいたします。

【事務局】

次に、次第3委員長、副委員長の選出でございます。資料の7をご覧ください。門真市附属機関に関する条例施行規則の第4条第1項に委員長及び副委員長は委員の互選により定めるとされております。いかがいたしましょうか。

【委員】

事務局の提案でよろしいんじゃないでしょうか。

【事務局】

事務局一任というご意見をいただきましたがそちらでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【事務局】

それでは、委員長には高野委員、副委員長には皆川委員でお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

【事務局】

ありがとうございます。

それでは、皆様のご承認をいただきましたので、委員長には高野 淨委員、副委員長には皆川 健多郎委員とさせていただきます。

これより議事運営は、高野委員長にお願いしたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。

【委員長】

皆様、こんにちは。

ただいま皆様のご承認をいただき、委員長に就任させて頂きました。どうぞよろしくお願いいたします。

門真市カドマイスターの認定事業は、平成 24 年の第 1 回目を皮切りに、以降毎年認定を行い、今年で 11 回目であります。

門真市カドマイスターの認定事業は、門真市内で製造業の事業を営む中小企業者の中で、卓越した技術等を有する企業を発見し、カドマイスターとして認定することで、広く情報発信し、認定企業が躍進できるよう支援することを目的としております。今年度は 2 社から応募がございました。

皆様のご協力を得まして円滑かつ慎重に、審議を進めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。では、次第 4 であります、会議の公開・非公開についてです。

事務局よりご説明をお願いいたします。

【事務局】

はい、では資料8「審議会等の会議の公開に関する指針及び門真市公開条例の抜粋」をご覧ください。

この指針の第3条に会議の公開の基準が示されています。

また、指針の第4条には会議の公開・非公開は当該会議に諮って決定するとあります。

事務局といたしましては、指針の第3条第1号の門真市情報公開条例第6条各号に掲げる不開示情報に該当する情報に関し、審議等を行う場合並びに第2号の当該会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営が著しく阻害され、会議の目的が達成されないと認められる場合に該当すると考えられますので、非公開とする案でお諮りしたいと思います。

【委員長】

ただいま、事務局から提案がございましたが、ご質問とかご意見等はございませんでしょうか。

【委員長】

特にご質問が無いようですので、本会議を非公開とすることと決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

はい。それでは、当委員会は非公開とさせていただきます。
他に事務局から何かございますでしょうか。

【事務局】

はい、議事録につきましては、門真市情報公開条例第6条の個人や法人情報についての非開示に関する部分を、非公開という扱いにさせていただきたいと思います。

【委員長】

それでは、今事務局から説明のありました、議事録は一部非公開とすることにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

はい、それでは早速審査を進めていきたいと思います。

次第の5のカドマイスター審査の方法について事務局よりご説明をお願いいたします。

【事務局】

はい。お手元の、資料3「門真市カドマイスターを探せ事業認定基準」をご覧ください。

基準第2にありますが、認定は次の5つの視点で評価します。

- (1) 製品のブランド力が高い企業、製品力評価
 - (2) 卓越した技術力・技能を有する企業、技術力評価
 - (3) 品質管理の意識が高い企業、品質評価
 - (4) 市場での占有率の高い企業、市場評価
 - (5) 人材育成や社会貢献に対する取組を行う企業、その他評価
- です。

続きまして、基準の第3第2項をご覧ください。評点項目につきましては、

- (1) 認定審査時、審査の基礎となる項目、基礎項目と
- (2) 認定審査時、記載することで加点される項目、加点項目です。

続いて、第6のとおり、基礎項目評価点に加点項目評価点を加えたものが総合評価点となり、満点は55点となります。認定の目安は概ね35点の評価点となっております。

す。

総合評価点の算出につきましては、まず評価項目ごとに各審査員の5段階評価点の平均点を算出いたします。5段階評価は高いものが5、低いものが1でお願いいたします。その平均点に所定のかけ率を乗じて評価項目の点数を算出します。その評価項目すべてを合計したものが企業の得点となります。

評価項目のかけ率につきましては、各企業が申請書に記載した事業パターンによって決定します。事業パターンは企業それぞれの特徴に合わせて製品力重視型、技術力重視型、総合力重視型の3通りがありますが、本年度は2社ともに総合力重視型での申請となっております。

次に審査の方法についてですが

お手元の資料4、審査票をご覧ください。

現在、お手元には事前にご記入いただいた審査表を配布させていただいております。この後行われるプレゼンテーション等により、事前評価の点数や評価コメントに修正等がある場合には、朱書きにてご修正いただき、2社様によるプレゼンテーション終了後に、ご提出くださいますようお願いいたします。

また、特に評価できる点や今後の事業展開に向けた前向きなアドバイス等ございましたら資料5にご記入願います。資料5については、事務局が取りまとめた後、委員長にご確認いただき、調整のうえ、委員長名で応募企業さまに郵送等させていただきますので、あらかじめご了承ください。

最後に、本日の応募企業のプレゼンテーションについてご説明いたします。

1企業の持ち時間は25分です。およそ20分のPRと5分の質疑応答を行います。ご質問は簡潔に願います。25分の持ち時間が超過した場合は終了させていただきますのであらかじめご了承ください。

応募企業全てのプレゼンテーションが終了したのち、個人審査、採点をしていただきます。審査表を提出いただきましたら、採点内容を事務局で集計いたします。採点結果が出ましたら、最後に委員のみなさまに全体審査をしていただいてから認定企業を選定する流れになります。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。では、ただいまの説明につきまして何かご質問等はございませんでしょうか。

【委員長】

特になさそうですので、それでは、各企業のプレゼンテーションに入りたいと思います。

準備がありますので少々お待ちください。

なお、プレゼンテーションの際の進行は事務局にお任せいたします。

《株式会社三和齒車 入室》

【事務局】

それでは、各企業のプレゼンテーションに入りたいと思います。

まずはじめは、株式会社三和齒車様です。

20分間の企業さまからのPRのあと、質疑応答とさせていただきます。

なお、プレゼンテーション終了の3分前に一回目のベルを鳴らします。25分経過いたしましたら二回目のベルを鳴らしますので、そこでプレゼンテーションは終了となります。

はじめに自己紹介をして頂き、プレゼンテーションを開始してください。

それではよろしく願いいたします。

《株式会社三和齒車 プレゼンテーション》

(内容は認定委員会決定により非公開)

【事務局】

以上で企業さまからのプレゼンテーションが終了しました。

続いて質疑応答に入らせていただきます。

ご質問のある委員の方は、挙手にてお願いいたします。

《株式会社三和齒車 質疑応答》
(内容は認定委員会決定により非公開)

【事務局】

はい、ではお時間となりましたので、三和齒車様のプレゼンテーションを終了いたします。どうもありがとうございました。

《株式会社三和齒車 退室》

《株式会社ホーシン 入室》

【事務局】

はい、続きまして、株式会社ホーシン様のプレゼンテーションを開始いたします。
20分間の企業様からのPRのあと、質疑応答とさせていただきます。

なお、PR終了の3分前に一回目のベルを鳴らします。で、25分全てのプレゼンテーション、質疑応答が終わられる合図としまして二回目のベルを鳴らさせていただきますので、そこでプレゼンテーションは終了とさせていただきます。

はじめに自己紹介をして頂きまして、プレゼンテーションを開始してください。
それではよろしく願いいたします。

《株式会社ホーシン プレゼンテーション》
(内容は認定委員会決定により非公開)

【事務局】

以上で企業様からのPRが終了いたしました。

続いて質疑応答に入らせていただきます。

ご質問のある委員の方は、挙手にてお願いいたします。

《株式会社ホーシン 質疑応答》

(内容は認定委員会決定により非公開)

【事務局】

ではお時間となりましたので、プレゼンテーションのほうを終了いたします。
株式会社ホーシン様ありがとうございました。

《株式会社ホーシン 退室》

【事務局】

以上で応募企業すべてのプレゼンテーションを終了いたします。

これから、委員の皆さまに個人採点を行っていただきます。事前に説明させていただいたとおり資料4に、修正等ございましたら朱書きにてお願いいたします。

終わりましたら、事務局が審査票を回収し、集計作業に入りますので、委員のみなさまは16時35分まで適宜、ご休憩をおとりください。

なお、資料5の評価できる点や今後の事業展開に向けたアドバイス等に関する記述もございましたらご記入くださいませ。よろしくお願いいたします。

《各委員 審査及び休憩》

【事務局】

では、もうお時間前ではございますが、皆さんお席につかれていますので認定委員会を再開させて頂きたいと思っております。高野委員長よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、引き続き審査を行いたいと思っております。

集計結果について、事務局よりお配りした審査結果表をご覧ください。

認定企業の選定にあたりましては、資料3の門真市カドマイスターを探索事業認定基準の第7にありますように、得点の結果や特筆すべき点などを考慮して、委員の合議により選定するということになっておりますので、それぞれの企業について見てい

きたいと思います。

まず、株式会社三和歯車様なんですが目安の得点をクリアしております。■点です。いかがいたしましょうか。特にあのご意見ございませんか。

《株式会社三和歯車について審査》
(内容は認定委員会決定により非公開)

【委員長】

分かりました。株式会社三和歯車様については、認定する、選定するということでご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

はい、ありがとうございます。

そうしましたら次にですね、株式会社ホーシン様ですが、こちらの企業様ですね、目安となる得点はクリアされています。■点取得されています。こちらの企業様は、いかがいたしましょうか。

《株式会社ホーシンについて審査》
(内容は認定委員会決定により非公開)

【委員長】

分かりました。それでは、株式会社ホーシン様についてもですね、選定ということでご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

はい、ありがとうございます。

それでは、ホーシン様についても認定するという事にさせていただきます。

ありがとうございました。それでは、結果について、事務局のほうからもう一度説明をお願いいたします。

【事務局】

はい、では、全ての応募企業はカドマイスター認定企業候補として選定でございます。

【委員長】

ありがとうございました。結果について、特にご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

はい、それでは最後に今後の流れについて事務局の方からご説明をお願いいたします。

【事務局】

はい。本委員会の結果をもちまして、市長に報告をさせていただきます。

カドマイスター認定式は3月29日火曜日13時からを予定しております。

また、認定式終了後、広報かどま及び市ホームページにて認定結果を掲載するよう進めてまいります。

最後に繰り返しとなりますが、資料5の評価できる点や今後の事業展開に向けたアドバイス等の記載内容は、事務局が一旦取りまとめ、委員長にご確認いただいたのち、調整のうえ委員長名で後日、応募企業様に郵送等をさせていただきます。

【委員長】

ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。

【委員】

今回、説明の時間が 20 分で質疑応答が 5 分という時間配分だったんですけど、やや 20 分はちょっと長すぎるというような感じがします。ですから、例でいうと大阪府の匠は 10 分でやっています。そう考えると準備をもうちょっとして欲しい。なんかポイントなく発表され、審査員に対してのアピールも弱いと思います。10 分、15 分でもいいと思うんですが、時間の配分を変え、その中でしっかり発表してもらえるようにした方が良いでしょう。あと逆に質疑の時間はちょっと 5 分は、もうちょっと聞きたいと思いますので 10 分くらいとっていただくと、逆に企業さんにとっても研鑽の機会になるのかなと。以上です。

【委員】

質問に対する回答ですね、1 つ 1 つの質問にたいしてちょっとマニュアルに回答される方が多い。簡潔に回答されるようにちょっとアドバイスしてもいいのかなとそんな気がします。

【委員】

(内容は認定委員会決定により非公開)

【委員】

(内容は認定委員会決定により非公開)

【委員】

(内容は認定委員会決定により非公開)

【委員】

(内容は認定委員会決定により非公開)

【委員】

(内容は認定委員会決定により非公開)

【事務局】

ありがとうございます、来年度以降の参考にさせていただきたいと思います。

【委員長】

はい、ありがとうございました。皆様の円滑な議事進行にご協力いただきまして本当にありがとうございます。

それでは事務局の方に議事の進行をお返しいたします。

【事務局】

本日は大変ありがとうございます。委員の皆様にも貴重なご意見多数いただきありがとうございます。

今説明ありましたように、今後も事業効果を高めるためにも次につなげるような形で実施していきたいと思います。

本日は大変長時間にわたりましてご審査いただきましてありがとうございました。

これをもちまして門真市カドマイスター認定委員会を閉会いたしたいと思います。

本日配布いたしました資料につきましては、申請書一式回収いたしますので、机の上に置いてお帰りいただきますよう、お願い致します。

本日は誠にありがとうございました。

<<閉会>>

以上